

日本の空を支える
空港技術職



Airport Machinery Engineer

国家公務員 選考採用試験
社会人経験者 係長級(技術・機械)
採用案内



パンフレットの内容、採用等に関して不明な点がございましたら、ご遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。



国土交通省 東京航空局 空港部 機械課

採用担当 課長補佐

TEL 03-5275-9294

直接メールでも結構です！

E-mail tcab-saiyou.kikai@ki.mlit.go.jp

※メールでのお問い合わせの場合、下記内容の記載をお願いいたします。

- ①お名前(ふりがな)
- ②お電話番号(ご自宅・携帯)
- ③お問い合わせ内容

※お問い合わせ頂いた内容は、当局の掲げる個人情報保護方針に沿って管理し、ご本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。

国土交通省東京航空局案内図



東京航空局までのアクセス

九段下駅下車 徒歩5分

- ・都営新宿線
- ・東京メトロ東西線
- ・東京メトロ半蔵門線

東京航空局
14階
空港部 機械課

東京都千代田区九段南1-1-15
九段第2合同庁舎



東京航空局採用サイト



役割・使命 MISSION

航空輸送は、身近な 高速交通手段の一つとして定着し、その意義は人・文化・情報の交流と物流を支え、国内はもとより、広く海外まで広域的にカバーした信頼性とスピードを持った、グローバルな交通機関として飛躍的な発展を遂げています。

また、航空機が翼を休める空港は、地域の産業発展、地域の文化、情報交流の基盤であり、災害時などの輸送拠点としての役割も担っています。これらの役割は、充実した航空ネットワークや安全運航、定時制が確保されて機能するものです。

一方、空港周辺では、「地域との調和・融合を図り共に在りたい」をテーマとした整備も重要なものとなっています。

このような状況と未来を見据え、日本における航空機の安全運航に必要な施設の整備と定時制の確保に必要な施設の整備を行い、空港においては、輸送基盤としてのアクセスやアメニティの向上など都市機能と直結した施設の整備を図り、利用者に優しく魅力ある空港づくりを目指しています。

私たちは、「日本の空」の安全・安心の確保と、航空輸送の発展をこれからも支え続けます。



計画推進 PROMOTION PROJECT

航空会社・空港会社等航空関連業界の経営基盤強化等への措置

国際線をはじめとする航空旅客需要は、いまだ回復途上にあり、航空会社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。航空会社の経営基盤の強化を図りつつ、航空ネットワークの維持と航空需要の回復・拡大にむけた機材投資を支援するため、空港使用料と航空機燃料税について軽減措置を実施します。

また、空港会社等に対しても、国内外の交流や国民生活、経済活動を支える航空ネットワークの維持を図るとともに、訪日外国人旅行者2030年6000万人の政府目標の達成などに向け、必要な空港整備事業に対し支援します。

安全・安心な航空輸送の実現と需要回復・増大への的確な対応

- ① 需要回復・増大に向けた空港受入環境整備等
- ② 空港整備事業等
 - 〔首都圏空港や地方空港等の機能強化等事業、空港の防災・減災・国土強靭化事業〕
 - 〔空港経営改革の推進・航空路整備事業・空港周辺環境対策〕
- ③ 航空保安対策の強化 ④ 操縦士・整備士の養成・確保対策 ⑤ 安全監査体制等の強化

航空分野のグリーン施策の推進

- ① 運航分野における脱炭素化の推進
 - 〔機材・装備品等への新技術導入・運航の改善・持続可能な航空燃料(SAF)の導入促進〕
- ② 空港分野における脱炭素化の推進
 - 〔空港施設、空港車両からのCO2排出削減・地上航空機からのCO2排出削減〕
 - 〔再エネ拠点化〕

航空イノベーションの推進

- ① 次世代航空モビリティ
 - 〔空飛ぶクルマ等次世代航空機の安全対策〕
 - 〔無人航空機に係るレベル4(有人地帯での目視外飛行)の活性化に向けた環境整備〕
- ② 地上支援業務(グラハン)への先端技術の導入促進
- ③ FAST TRAVELの推進等によるストレスフリーで快適な旅行環境の実現



機械職員の役割・業務



機械職員の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています

■ 機械職員の役割

空港は、滑走路や誘導路などの航空機の離着陸に必要な基本施設、旅客の乗降や貨物の積み降ろしを行う空港ターミナル施設、航空機の離着陸を援助するための航空保安施設、管制を行うための管制施設、庁舎や管制塔などの管理施設、鉄道やアクセス施設等から構成されており、これら多くの施設や設備が一体となって機能することによって安全な航空輸送を支えています。

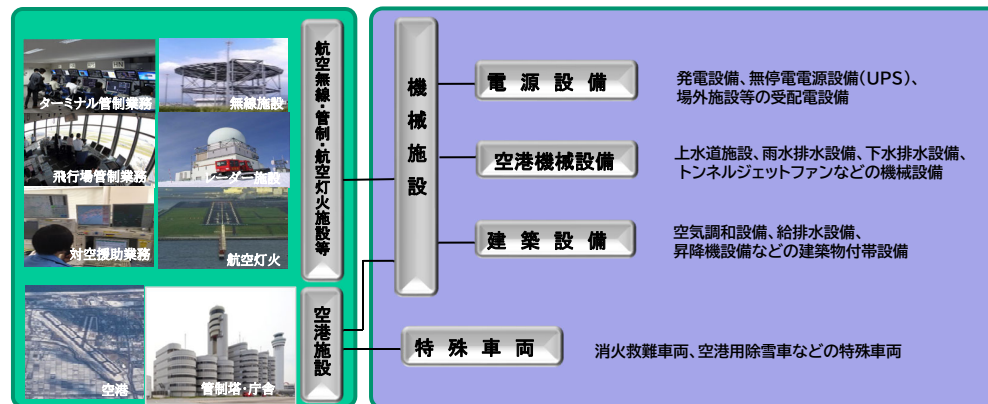
機械職員は、「**ソラのエナジーマネージャー**」、「**ソラのインフラサプライヤー**」として機械施設の管理・運用や機械施設の整備・維持管理業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対策、空港の安全監督など幅広いものとなっており、機械職員の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています。

■ 機械職員の主な業務

機械職員の主な業務は、国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な機械施設に係る企画、調査、工事の設計、施工及び維持管理に関することを担当業務としています。また、国が管理する空港に配備された空港用化学消防車などの特殊車両に係る企画、調査、設計、製造及び保守に関することも担当しています。



機械施設の概要



航空局における機械施設は、いわゆる四力学の機械技術分野はもとより、電気、制御などの広範な技術分野の施設から構成されています。





発電設備及び無停電電源設備



発電設備

Secondary Power Supply



無停電電源設備

Uninterruptible Power Supply

UPS装置

UPS用蓄電池



可搬形発電設備

自然災害をはじめ航空保安施設等における電源障害時の電源確保のため展開される、運搬が容易な発電設備。



発電設備の役割、具体的な稼働状況は、左記動画(YouTube)でもご覧頂けます

- ・空港や航空保安施設の電力供給がストップするとその機能はマヒし、大混乱を来します。そのため、空港などには非常用発電設備を備えています。
- ・また、管制情報処理システムなどの電算システムは、一瞬の停電も許されないため、無停電電源設備(UPS)を介した無瞬断の電源を供給しています。
- ・航空保安施設用の電源設備は、国際基準や航空法に基づき、信頼性の高いシステムが求められています。



空港機械設備

雨水排水設備



空管内雨水排水設備

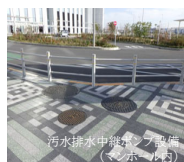


アンダーパス雨水排水設備

上下水道関連設備

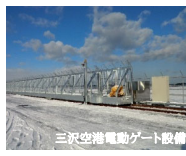


上水配水設備

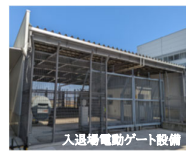


汚水排水中継ポンプ設備(羽田)

ゲート設備

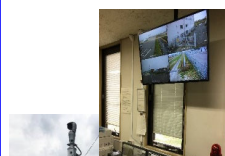


三沢空港電動ゲート設備



入退場電動ゲート設備

空港警備システム



監視システム



監視カメラシステム

- ・空港機械設備は、空港内の道路やアンダーパスなどの雨水排水ポンプ設備、空港内の各所へ上水を配水する設備、空港内で発生する下水を公共下水道へ排水する設備、制限区域などへの入退場ゲート設備、制限区域内への侵入者などを監視する警備システム等、空港の運用や安全確保に必要な設備です。



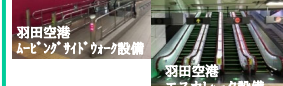
建築設備



庁舎・管制塔
航空保安施設



その他

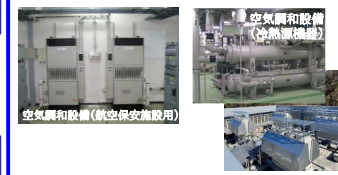


羽田空港
ターミナルビル1階エスカレーター設備

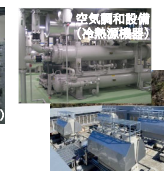


羽田空港
エスカレーター設備

空調設備

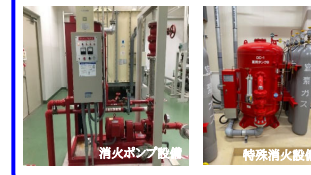


空調設備(航空保安施設用)



空調設備(航空保安施設用)

消火設備



消火ポンプ設備

特殊消火設備

昇降機設備



地上機

給排水衛生設備



受水槽

衛生設備

- ・建築設備は、国が管理する庁舎、航空保安施設などに設置されている空調設備、昇降機設備、給排水衛生設備等の設備です。とりわけ、無線機器室や管制業務運用室などの空調設備は、安定した温度管理を行うために、複数台の空調機により信頼性の高いシステムを構築しています。また、空港内の駅やターミナル間における旅客の移動に必要な設備の設置も行っています。



空港用特殊車両

空港用消火・救難車両



Roof Turret Type

High Reach Extendable Turret Type (HRET)

空港用化学消防車



Aircraft Rescue and Fire Fighting

空港用除雪車両



高性能スノーブロー・スイーパー除雪車

高性能ロータリー除雪車

高性能スノーブロー・スイーパー除雪車

- ・空港には、万一の航空機事故に備え空港用化学消防車、救急医療搬送車などの消火・救難車両や、積雪からいち早く滑走路等を使用可能とするために空港用除雪車両を配備しています。
- ・空港用の特殊車両は、一般用と比べて非常に大きく、また高い走行・消火・除雪性能が求められ、特に消防車は国際基準を満足する必要があります。



機械施設のブロック管理

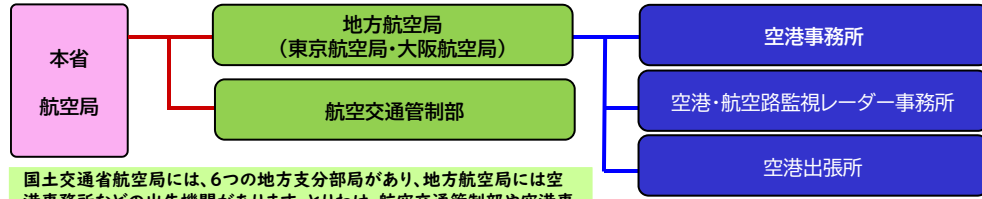
管理センター管轄ブロック図



- ・全国に点在する機械施設の管理は、5ブロックに区割りされた各管理センターにより行われています。
- ・各管理センターには、機械施設を遠隔で監視・制御を可能とする装置（通称MAPS）を設置し、リアルタイムで機械施設の状態、故障の有無等の把握、故障の予知・診断をも可能としています。
- ・管理センターの勤務は、24時間の監視業務のため3直4交代制のシフト勤務となり、一定の要件を満たした機械職員が従事します。よって、採用にあたってはシフト勤務（夜勤）ができることが条件となります。



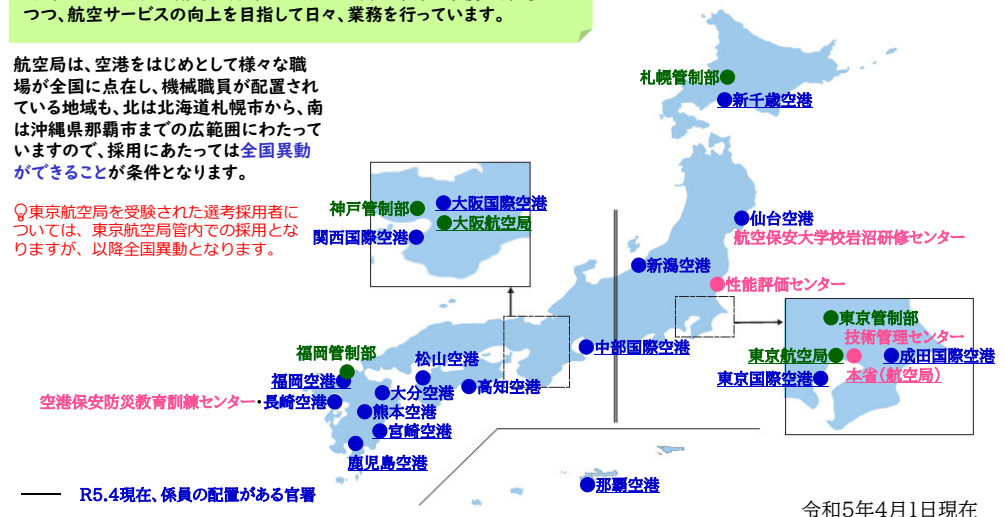
航空局の組織と機械職員が勤務する職場



国土交通省航空局には、6つの地方支分部局があり、地方航空局には空港事務所などの出先機関があります。とりわけ、航空交通管制部や空港事務所などでは、航空輸送の現場として航空の安全確保を最優先課題として、航空サービスの向上を目指して日々、業務を行っています。

航空局は、空港をはじめとして様々な職場が全国に点在し、機械職員が配置されている地域も、北は北海道札幌市から、南は沖縄県那覇市までの広範囲にわたっていますので、採用にあたっては全国異動ができることが条件となります。

◎東京航空局を受験された選考採用者については、東京航空局管内での採用となりますが、以降全国異動となります。



令和5年4月1日現在



組織別の主な役割・仕事

・機械職員の役割や業務は組織により異なり、空港や航空輸送に必要な機械施設を専門分野の技術で技術基準の策定、予算要求、調査・計画、建設、運用、維持管理までを一元的に対応しています。

本省 (国土交通省 航空局) 予算要求 関係法令、技術基準制定 国会対応	地方航空局 (東京航空局・大阪航空局) 予算要求 施設の新設・更新等	各空港事務所 各航空交通管制部 運用 維持管理
<p>・航空行政を担う中央組織であり、「事業の企画・調査」、「予算要求」及び「機械施設や特殊車両の共通仕様、積算基準、業務処理規定類などの基準類の制定」、「研修の企画」、「国会対応」、「各種会議及び委員会の開催」等を行っています</p>	<p>・管内空港や航空保安施設に必要な機械施設の「新設・更新工事や特殊車両の製造などの発注、監督、検査などを行っています。」</p>	<p>・当該空港及び管轄する空港や航空保安施設に必要な機械施設などの運用・維持管理を行っています。維持管理については、保守業務等を業者へ発注するための仕様書作成や積算業務、発注後の受注者への監督・検査などの業務を行っています。また、地方航空局が発注した工事の現地監督も行います。</p>



仕事の流れ(工事、製造、点検整備など)





ある日の仕事の様子

Aさんの1日(空港事務所勤務 施設運用管理官 30歳)



日中の業務



先任付(係員)が作成した修理発注仕様書・積算のチェック
保全業務受注者との監督打合せ
工事監督(試験立会い)

定期に行われる夜間立会い業務



空港運用終了後に実施する機械設備点検業務(停電作業)の立会い

※保守点検繁忙月に1~2回程度

Bさんの1日(地方航空局勤務 係長 35歳)



日中の業務



係員が作成した工事の設計図、積算の内容確認
工事受注者との施工計画打ち合わせ
予算要求資料作成
空港整備事業計画の調整会議

管内空港等へ出張して行う業務

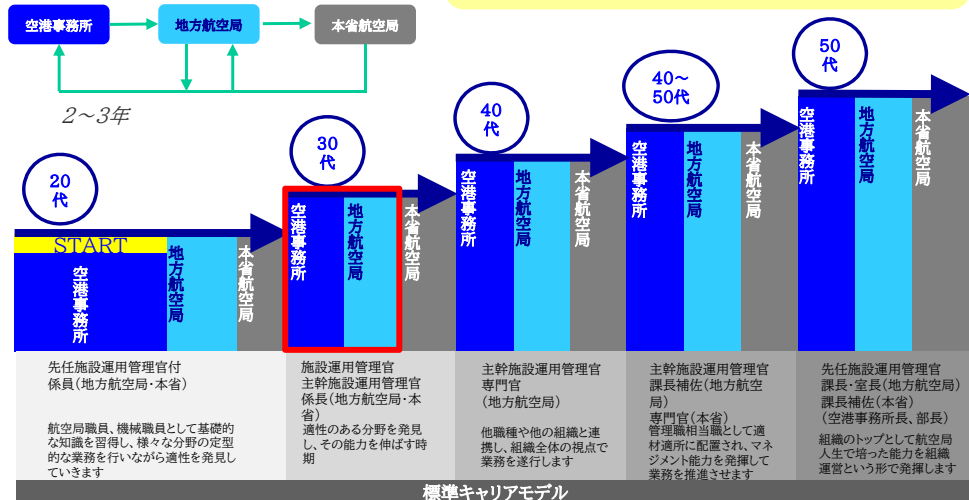


係員が実施する実施設計現地調査や工事説明会の開催、工事監督のサポート

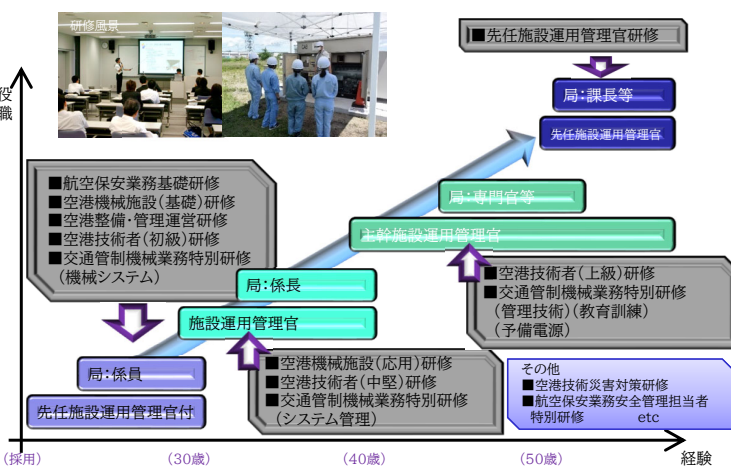


キャリアプラン

役割・業務内容、地域・規模など様々な観点で経験する“Plan Do See”を重視したキャリア形成となっています。
Q 選考採用者については、地方航空局係長又は空港事務所施設運用管理官からキャリアがスタートします。



キャリアパスと研修



Q 選考採用者については、採用後に係員を対象とした研修を早期に受講していただくなど、短期間で航空行政や機械業務(技術に関する知識を習得して頂くとともに、係長として必要なスキルの習得をめざします。

・機械職員には工学的基礎知識や機械業務の専門知識・技能に加え、空港や航空管制に関する知識など、「幅広い知識」、「専門的技能」、「安全を優先する姿勢」などのスキルが必要となります。
また、国家公務員としての公務員倫理や役割に応じたマネジメント能力の習得も必要です。

・そのため、こうした必要なコンピテンシー(「知識」や「技能」、「姿勢」)を習得できるよう、世代別・業務別・役職別に様々な研修を設けています。
こうした研修は、宮城県岩沼市の「航空保安大学校岩沼研修センター」や千葉県柏市の「国土交通大学校柏研修センター」などで実施しています。



機械業務の経験を生かした業務

空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対策、空港の安全監督など、機械業務で身につけた知識・経験を生かして、航空局が担う様々な役割・業務に従事することがあります。とりわけ、空港の運用に係る省力化・自動化や、航空輸送の脱炭素の推進、空港の防災・減災対策など新たな行政ニーズへの対応が求められています。

工事の品質確保などへの対応

【技術審査業務】



完成検査

交通管制・空港の安全確保、航空保安(セキュリティ)への対応

【安全監督等業務】



監査業務(書類)



監査業務(現場)

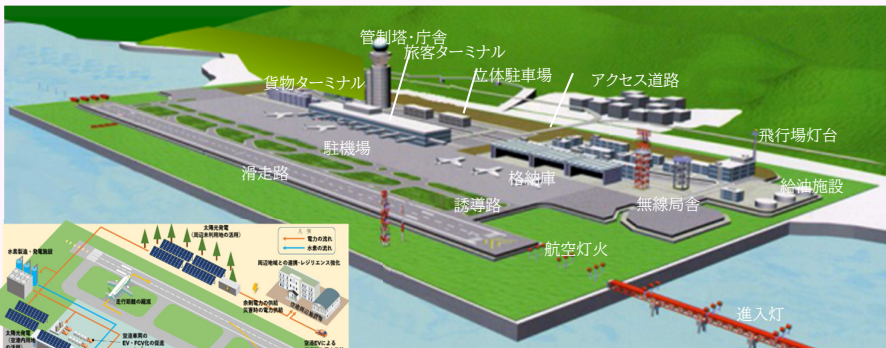
国際協力、空港分野のインフラ国際展開などへの対応

【国際関係業務】



空港整備計画業務や新たな行政ニーズへの対応

【計画業務】



カーボンニュートラル(脱炭素化の推進)



空港の防災・減災、国土強靱化、耐災害性対策



航空インノベーション(省力化・自動化)



先輩職員インタビュー(選考採用者の声)

空港事務所 勤務
女性 Aさん

応募・入職に至ったポイントや動機は何ですか？

前職の経験を活かせる職、且つ自分自身が成長できる転職先を探していました。技術(機械職)という事で、ストレスなく機械設備に関する知識を増やす事ができると思い応募しました。一旦、航空業界からは離れていましたが、やはり、航空業界に携わっていたかったという思いもあります。

入職して実感している魅力は何ですか。

若手からベテラン勢までレベルにあった研修が準備されていて、内容が常にリバイスがかかっています。座学だけでなく、ディスカッションや実機を使った実技研修まで幅広く知識を取り入れ、人を大事に育てる風潮が目に見えました。民間では、ここまで手厚くはなかったです。私の年齢で、ここまで勉強させていただける環境が大変ありがたいです。

受験者へのメッセージ

職場では経験豊富な先輩方から様々な事を教えていただけます。とても、アットホームな雰囲気です。何か行き詰っても、周囲と相談し解決へと繋がります。また、ワークライフバランスの推進を掲げている事もあり、家庭の事も大事にしつつ、自身の成長にも繋がる仕事ができるので、充実した生活を送れるメリットがあります。業務が楽とは思いませんが、サポートもしっかりあり、順を追って成長できます。

地方航空局 勤務
男性 Bさん

応募・入職に至ったポイントや動機は何ですか？

前職の受注者側の立場で仕事をしているうちに発注者側でなければ分からない知識を習得することで機械設備に関する深い知識を持ちたいと思うようになったのが動機です。

前職やこれまでの経験で、今の仕事に活かしていることがあれば教えてください。

現在所属している課では、機械設備工事の入札審査・工事検査等を担当していますが、前職の受注者側と逆の立場での職務になりますので、これらの業務に関する知識・経験を対人関係も含めて全般的に生かしています。

CADも使うことがありますので、設計図・施工図・完成図を作成していた経験も役に立っています。

受験者へのメッセージ

発注者側の立場で設計・積算・法律等の知識を習得でき、機械設備に関する知識がより深くなるのが大きな転職メリットの一つだと思います。機械設備に関する知識を極めたいと思う方にはお勧めします。



FAQ よくある質問

Q1 求める人材を教えてください

日々発展する航空を取り巻く環境の変化に迅速に対応できる「応用力」、航空局ならではの多様な職種の間と協調できる「コミュニケーション能力」、どのような仕事にもポジティブに取り組む「前向き力」を持っている人を求めています

Q2 航空局の魅力を教えてください

空港事務所では空港という非日常的な空間で航空機の離着陸を横目で見ながらの勤務を経験し、地方航空局や本省航空局では航空行政に関する企画・立案業務を経験し、日々発展していく「航空」の世界のスケールの大きさを肌で感じながら成長していくことができます。また、多様な職種と全国の様々な地域の仲間との出会いが多いため、交友関係の幅も広がります。

Q3 転勤について教えてください

各地の空港事務所や地方航空局、本省航空局などが勤務地になりますので、転勤先によっては転居を伴う場合があります。転勤は概ね2~3年ごとではありますが、定期的に勤務地及び職務に関する希望を提出することや面談を通じて、個人のキャリアパスやライフプランにも考慮しつつ異動を計画しています。

職員の中でも、採用時には転勤に対する不安をもった方もいますが、いざ転勤すると「地域の食や文化の魅力を楽しむことができた」、「交友関係が広まった」などの肯定的な感想も聞かれます。また、各地の勤務先に宿舍があり、入居も可能です。

Q4 勤務時間はどうなっていますか

1日の勤務時間は7時間45分です。土日・祝日が休日となります。勤務時間は原則8時30分~17時15分(昼休1時間)、本省や地方航空などでは勤務時間(9時00分~17時45分など)を選択できる官署もあります。

空港事務所の勤務において施設の点検を空港の運用や航空機の運航への影響を考慮して夜間を実施するため、これに立ち会う場合があります。

また、空港事務所の一部の職員は24時間の交替制勤務で業務を行っています。

Q5 残業はありますか

機械施設に不具合が発生した場合や、工事や保守点検などの発注繁忙期などにおいて、勤務時間を超過して残業となる場合があります。

航空輸送の安全を担う職責を持つ業務ですので、こうした残業は発生しますが、航空局では「ワークライフバランスの推進」に積極的に取り組んでおり、業務の効率化による超過勤務削減とともに、ポジティブオフ(月1回の有給休暇取得)や1週間以上の長期休暇の取得推進(夏季)など、メリハリのある働き方に取り組んでいます。

Q6 ワークライフバランス(WLB)の推進について

航空局では、職員が生活を楽しみ仕事と家庭を両立しやすくなるよう「ワークバランスの推進」に取り組んでいます。とりわけ女性職員の採用推進(機械職員現在5名)、育児・介護等の両立支援、WLBを考慮したキャリア形成支援、業務の効率化、働き方改革を推進しています